

勝澤
印12 2025年
月号

江津市図書館 ホームページはこちらから！

年末年始休館にともなう 貸出冊数・期間変更のおしらせ

今年も年末年始の休館日にあわせて、以下の内容で貸出冊数・貸出期間の上限を変更いたします。この機会に、どうぞたくさんの本をご利用いただき、年末年始のおうち時間を楽しくお過ごしください。

なお、CD・DVD・ゲームは貸出点数の変更はありませんが、貸出期間は本・雑誌と同じく3週間となります。

貸出冊数・期間上限が変更となる日

12月15日(月)～28日(日)

貸出冊数 10冊まで (通常は5冊まで)

貸出期間 3週間まで (通常は2週間まで)

※返却日は資料に添付された
期限票の、最後に押してある
スタンプの日付となります。
ご確認をお願いいたします。
(本館：赤色 分館：青色)



古文書を読む会 会員募集中

図書館講座「古文書を読む会」へのご入会を随時受け付けております。この会は、図書館開館の2年後に当時館長で郷土史家でもあった原龍雄氏が自ら立ち上げた歴史ある文化講座です。長年テキストとして使用しているのは、跡市村の庄屋として膨大な古記録が残されている澤津家の文書類となります。現講師の小川先生による解説文と原文とを見比べながら、一緒に読み進めています。

古文書は歴史的事実の証拠となります。身近な祖先の生活をリアルに感じてみたい方、ぜひお気軽に見学へいらしてください。初心者の方も大歓迎です。

図書館講座「古文書を読む会」

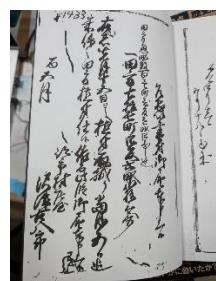
開催日時：毎月第2土曜日 14時～16時

会場：渡津コミセン

講師：小川斉子氏

※会費は無料ですが、テキスト配布
(年2回程度) 毎に100円を資料代
としていただきます。

お問い合わせは図書館本館まで



「福ぶくろ」開始日のおしらせ

恒例となった本の福袋企画「福ぶくろ」。今年度も新年初日開館日となる1月5日(月)より貸出スタートいたします。今回ご利用の方には、カウンターでハズレなしの当たりくじを引いていただけるチャンスが。新年の運試しと、ふだんご自身では選ばれないような本との出会いをぜひ期待してください。

※「福ぶくろ」は通常の貸出冊数には含めません

※返却いただければ、次の新しい袋を借りることができます



12月の

休 館 日



■毎週火曜日

2・9・16・23日

■年末・年始休館日

29日(月)～1月4日(日)

※4日は12月末休館振替日です

新着図書

※前月の20日頃までの新着図書の一部です

請求番号	タイトル	著者・監修者 他
09	神さまのおうちさんぽ(1) しゅんすけくんとようこちゃん	三島俊介
007.5	他人の手帳は「密」の味 禁断の読書論	志良堂正史
019	建築知識 2025年8月号 本と生きる空間	建築知識:編
210.7	「あの戦争」は何だったのか	辻田真佐憲
289.1	気象学者増田善信 信念に生きた101年	小山美砂
330	お金の不安という幻	田内学
374.3	先生のための「つい…」の決めつけをほぐす練習	茂木正浩
489	山でヒグマに遭わない・死なない観察力	稗田一俊;長谷智恵子
490.4	痛いところから見えるもの	頭木弘樹
589.8	昭和たばこ図鑑	たばこと塩の博物館
594.2	30日でまなぶ刺繍の基本ステッチ	刺繍のとりこ
596.3	最愛!のりレシピ86	しらいのりこ
596.7	いつもの紅茶がもっとおいしくなる本	保科健
629.7	すきまガーデニング	主婦の友社
778.0	パンチラインの言語学	川添愛
810.4	ことばに潜むジェンダー	遠藤織枝
913.6	冷蔵庫探偵 蔵前怜子	遠藤彩見
913.6	エピクロスの処方箋	夏川草介
914.6	90歳、男のひとり暮らし	阿刀田高
933	マーブル館殺人事件 上・下	アンソニー・ホロヴィッツ
E	ほんのむしのメメちゃん	コマヤスカン
E	ある星の汽車	森洋子
E	しろのえほん	まるめはな
K210	みんなが知りたい!古墳とはにわ	「古墳とはにわ」編集室
K366	働く現場をみてみよう!かわいいをつくる仕事	保育社
K407	はじめてのサイエンス ガラス	NHK出版
K597.5	牛革のランドセルができるまで	上吉川祐一
P	【紙芝居】がんばれサンタさん	あかいしゆみ
C	【CD】しゅー・しゃいん	寺尾紗穂
C	【CD】タイム・フライズ…1994-2009	オアシス

江津市図書館

【本館】 〒695-0011 島根県江津市江津町995 ■ TEL (0855) 52-0551
FAX (0855) 52-0552

【桜江分館】 〒699-4226 島根県江津市桜江町川戸11-1 ■ TEL/FAX (0855) 92-0300

開館日:水曜日~月曜日 休館日:火曜日・毎月月末日・特別整理休館日・年末年始

開館時間:(通常業務)午前10時~午後6時

歴史探訪会 ~波積編~ レポート

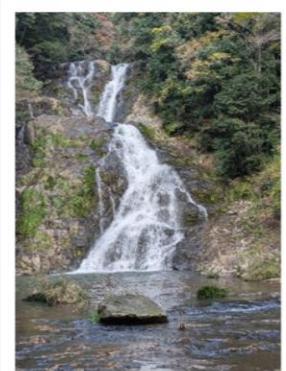


11月27日に江津市文化財研究会主催・江津市図書館共催による歴史探訪会が15名の参加により開催されました。前日までの天気予報では午後に向けて雨模様ということでしたが、午前中は気持ちよく晴れ、予定どおり終了することができました。

最初の見学地、福城寺の杉（市の天然記念物指定）は周囲5m。3人が腕を広げてもまだ足りない太さでした。高倉山八幡宮では総代の柳原さんから、波積という地名の由来や八幡宮の由緒等について詳しく説明を聞きました。また、神楽や田植え囃子についてもわかりやすくお話をいただきました。最後に見せてもらった神楽面は、そのサイズの大きさに圧倒されました。

波積ダムでは、このダム建設の目的である浸水被害を防ぐための洪水調節と渴水時に放流して渴水被害を少なくすること、の説明を受けました。最後に、参加者一同、勇壮に流れ落ちる岩瀧寺の滝を眺めながら、清々しい一時を過ごしました。

見学は2度目という方もおられましたが、改めて波積地域の文化財について認識を深めることができました。



極限状態にどんな行動を取るかで

その人の本性が現れる。

やけくそになる者、自分だけ助かる者とする者。

仲間を見捨てずに助けに行く者。

自分はどのタイプだ？と想像しながら

観るのも一興。



バスケス
血の気が多く強くて
しづとい女性兵士



ビショーフ
人間よりもずっと役に立つ
何でも出来る人造人間



ヒックス
伍長
冷静
経験豊富な
海兵隊員



『エイリアン2』

1986年公開 136分 監督: ジェームズ・キャメロン
出演: シガニー・ウィーバー、マイケル・ビーン ほか

大ヒットSFスリラー「エイリアン」のシリーズ第2作。エイリアンの大群と海兵隊の死闘を緊張感たっぷりに描く。製作当時はCG技術がまだ未発達だったため、無数のエイリアンはすべて実写で制作されている。



おや？

当館キャラクターの“ヨンデルン”が、職員たちの雑談に聞き耳を立てていますよ。今月はどんな話をしているんでしょう…？

A: この間お店で、かごがいっぱいになっちゃってもたもたしてたら知らない人がすっと自分のカートを指ししめして「使う？」って。

一同：かっこいいー！

A: そうでしょー？

そんなしてもらってうれしかった小さな親切や、自分で心がけていることって何かありますか？

C: ありきたりかもしれません、次の人のがいるときはドアを押さえてあげるとか、トイレのスリッパの向きをそろえるとか…

B: うれしいですね。

D: エレベーターのボタンとかもですよね。

A: もう当たり前になっているのかもしれないけれどやってもらうとありがたいよ。あとコンビニとか図書館でもそうだけど挨拶を返す人って意外と少ない気が。

B: そうですね。無言の人が多い。

A: なので自分ではせめて会釈はするように心がけてますね。レジでも「ありがとう」と言うようにしたりとか。

B: うちの母も言っていますね。

C: ちょっとしたことですけどうれしい気がします。

D: 車を運転していて、歩行者が渡りたそうなときって止まらないといけないじゃないですか。当然のことなんですが、その時に少しおじぎをしてもらうとかうれしくないですか？

B: わかるー！ 逆にこちらが渡りたいときに止まってくれなかつたらすっごい腹立つ（笑）

C: 見えてないんですかねえ。

A: 私も前車で止まって渡るのを待ってたら、渡り終わってから満面の笑みで手を振ってくれたことがあってうれしかったな。

C: 子どもは学校で教えられるから渡つたらおじぎしますけど、おとなはあまりしないかもですね。

D: あと車同士でも。お店から出てきたときに前に入れてあげたときにハザードで挨拶してくれるのも。

A: そうそう！ なんにもないとさびしい。

B: あせっちゃうとできないんですよ…

C: 入れてあげたいけどタイミングも難しかったり。

A: 朝の通勤時とか無理ですね。やさしくするのもされるのも、心に余裕がないと。

B: 持ちつ持たれつを心がけたいですね。

D: お互い様の気持ちが大事！

A: さて嫌なことのほうが記憶に残りがち。ささやかでもうれしいことに焦点をあわせてていきたいですね。

『袖すりあうも他生の縁』
『情けはひとの為ならず』ってね♪



＼ 今月のおすすめ本 /

『話し方のマナーとコツ』 (809)

『一目おかれる振るまい図鑑』 (385)

『やさしいがつづかない』 (151)

早いもので、今年もあとひと月。今年の大ニュース、今年の漢字、等々、年間のまとめの企画や催しがあります。

テレビの芸能番組では、NHK放映の紅白歌合戦があります。特に昭和時代には、

大晦日恒例番組として定着し、昭和38年（一九六三年）には歴代最高視聴率81.4%を記録するなど「国民的行事」とまでよばれるようになりました。その年の人気歌手を主な出場者として、流行歌の集大成の番組となり、近年も放映されています。

一九七〇年代までの流行歌は主に歌謡曲と言われました。歌謡曲は昭和初期にできた言い方で、日本風のメロディーに西洋風のリズムに当てはめる形で作られました。以後、ニューミュージック、J-ポップとよばれる若者向けのジャンルが出てきて、歌謡曲という呼び名は演歌をさすようになったという識者もいます。演歌は日本的な要素が盛り込まれ、民謡や浪曲などの影響を受け、男女の悲しい恋愛をえがく歌詞や「ごぶし」という歌唱法が特徴的です。

『参考文献』『ポップラディア』（ポップラ社）・『歌謡曲は死ない』（貴地久好・高橋秀樹）『J-ポップとは何か』（鳥賀陽弘道）

紅白歌合戦と流行歌
雑記帳